

■結婚記念日■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 139 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

139 目次

1. ブログから：結婚記念日
2. 今週のお知らせ：年末のごあいさつ
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：結婚記念日

先日、結婚 35 周年を記念して、カミさんと一緒に 2 泊 3 日で屋久島に旅行した。初めての屋久島は、シーズンオフということもあって空いていて、人気スポットを効率よく回ることができたが、特に地域のガイドと歩く里めぐりは「ブラタモリ」のような面白い体験だった。そんなわけで、屋久島に関して話したいことがたくさんあるのだが、今日はあえて結婚記念日について話をしたい。

世間には様々な祝日や記念日があるが、僕は「結婚記念日」を一番大切にしている。もちろん「カミさんを愛しているから」と言いたいところだが、もう少し正確に言うと「結婚」そのものを僕が大切に考えているからだ。その理由は、結婚は誕生や死と異なり自分の意思による行為であること。そのため、「結婚記念日」は正月やクリスマスなどと違い自分独自の日である上に、誕生日や親の命日などと違って自分自身が選んだ日となる。その意味で、「結婚記念日」に似ているのが「創立記念日」かも知れない。自分の意思で会社や施設を生み出すのは、与えられたことではないという意味で結婚に似ている。だが、会社はやがて引き継がれ、自分から離れていく。それに引き換え、結婚だけはいつまでも自分自身のことであり続ける。

結婚について、面白いエピソードがある。それはイスラム教徒の友人から聞いた一夫多妻制の話だ。日本では一夫一婦制が一般的な常識だが、イスラム教徒が一夫多妻制であることを否定したりはしない。ところが、イスラム教徒の友人は、日本人やキリスト教圏の欧米人の一夫一婦制を否定する。世界の多様性を認めない彼らの意見

に僕は強い違和感を覚えた。「なぜ君らは、一夫一婦制を否定するのか」と問いただすと、「それは、一夫一婦制が嘘だから」という。つまり、「多くの人が堂々と浮気をし、社会がそれを許容しているくせに一夫一婦制などちやんちゃら可笑しい」という訳だ。確かに結婚式で唱えられるのは「死が二人を分かつまで、貞節を保ち、添い遂げる」という約束だ。多くの人が、密かに貞節を破り、添い遂げもせず自ら誓いを破っている。そして許しを請う…所詮そんな信仰なのかもしれない。

だが僕は、それでも「死が二人を分かつまで、貞節を保ち、添い遂げる」という「結婚の定義」を誇らしく思う。それは同時に、結婚の目的が生殖や繁殖でないことを示すからだ。ようやく日本でも LGBT という言葉が認知され、同性愛者が異常視されなくなってきたが、それでも大多数の人にとって「同性婚」は理解不能な概念だ。同性婚を否定するのは、結婚の目的を「子供を産むこと」と考えるからだが、それでは不妊症の男女は結婚できないことになってしまう。そもそも誓いの言葉に「男女や生殖」のくぐりはない、つまり結婚とは「自ら選んだパートナーと生涯添い遂げる」という生き方そのものであり、家族や親子とは別の極めて人間的な概念ではないだろうか。

僕は今、カミさんの実家に同居して「マスオさん」になっている。カミさんの母親と弟、そして僕たちの息子と暮らしているので全員が血縁関係者なのだが、唯一僕とカミさんだけが赤の他人ということに僕はある時気が付いた。どんなに家族の絆が強くても、それを生み出す「夫婦」が他人であるということは何と皮肉なことだろう。僕は一般論として離婚を否定する気は毛頭ないが、僕自身は離婚せずに添い遂げることに結婚の意義を感じている。世界中の人間から一人を選び、互いが一番良かったと思いながら死んでいくなんで、なんて壮大なチャレンジなのか。とても難しいことかも知れないけど、多くの人が成し遂げているのもまた事実。そして、どんな人でも挑めることが、何より素晴らしいと僕は思う。

価値があるから大切にするのではなく、大切に思うことこそが価値を高めるのではないかと僕は思う。だから僕は、自分の結婚を大切にしたい。別に大切にしなくても、怒るのはカミさんだけだし、それも時と共に失せていくのかもしれない…だから、このチャレンジは僕にしかできないし、その価値は僕にしかわからないし、それでいいと僕は思う。だがもしも、この話を聞いてあなたもそう感じたなら、あなたにも是非挑んで欲しいと思う。今年も2組のカップルから「婚姻届の証人」仰せつかったが、その Kさんと Iさんたちには、是非とも挑んで欲しい。自分が選んだ赤の他人を、一番大切にすることを、僕は死ぬまで続けたい。

<http://nanoni.co.jp/20171222-2/>

.....

2. 今週のお知らせ：年末のごあいさつ

今年も最後の週となりました。

多くの出会いと気づきをいただき、皆様に心より感謝申し上げます。

笑恵館は27日までの営業ですが、僕は色々と片付かず、30日まで仕事になりそうです。

大晦日と元旦は、家族や親せきと暮らしますが、2日から4日までは自宅におりますので、気軽に声をおかけください。

年明けは、1月5日笑恵館からスタートします。

来年もどうぞよろしくお願いたします。

.....

3.まつむら塾

■開催予定 講義+演習

笑恵館では毎週土曜日の午後、随時開催いたします。

- ・日程：1/6,13,20,27（毎週土曜日）12-21時
- ・会場：笑恵館、受講料：3000円／講座・初回無料
- ・予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで
<https://www.timeticket.jp/items/39813>

その他会場募集

- ・まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。
- ・会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質問を受け付けます。
初回無料、月額3,000円～承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 12/25 ○作業日午後から笑恵館で面談可

(火) 12/26 休業日

(水) 12/27 ○作業日 千葉方面

13-15時 ★マッドシティ視察（松戸界限）

17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

(木) 12/28 ○作業日 午後から飯能方面

17-21時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 12月例会・忘年会

(金) 12/29 ○作業日 午前飯能方面

(土) 12/30 ○作業日 午前世田谷方面

(日) 12/31 休業日 自宅忘年会

■その後のイベント

- 1/06 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- 1/11 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
- 1/11 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
- 1/12 19-21 時 ★カプラー起業交流会(三茶)
- 1/13 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- 1/13 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- 1/18 13-16 時 ★笑恵館なるほどデイ
- 1/20 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- 1/21-24 シンガポール旅行(現地で会える人募集中)
- 2/02 19-21 時 ★第 25 回 解決しゃべり会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>